

第2期美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業に関する検証

令和5年度 美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する検証

第2期総合戦略は、令和2年度から令和6年度までの5ヶ年計画となっており、地方創生の実現に向けて3つの基本目標と4つの具体的な政策(プロジェクトM)を定め、重要業績評価指標(KPI)を設定しています。この3つの基本目標を達成するため、合計44事業を具体的な事業として設定しております。

今回、評価検証を行うための基礎資料として、「各課実践事業」ごとに評価を行いました。評価の状況としては、全実践事業44件のうち、実践済み(評価A～D)が40件で全体の約90%で、内、確実な効果を期待できるもの(評価A・B)が22件で全体の約50%であり、第2期の4年目としては概ね順調にそれぞれの施策が推進されています。D評価の3件については、廃止を含めた施策の見直しを検討していきます。

1. 各基本目標ごとの状況

内 容	5年後の数値目標	R5実績
基本目標① 家族と暮らし続けたいまちづくり	出生数を50人確保	11人
基本目標② 地域みんなで支えるまちづくり	地域で新たに移住者を30人確保	29人
基本目標③ 「会える」がたくさんのまちづくり	観光入込客を年間22万人確保	148,581人
今後の展開 引き続き、保健・教育・福祉等関係機関や地域の子育て支援団体等との情報交換や連携を行い、結婚、出産を含めた子育て支援の充実を図り、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた仕組みづくりを行う。		
①        		
「地区別定住戦略(ちくせん)」の実践に対し、地区に寄り添った支援を行いながら、切れ目ない支援体制の構築を検討する。また、引き続き、きめ細かな移住・定住相談と起業・事業承継支援を行うとともに、		
②           		
全国的に移住に対する機運が高まりを見せる中、新たな体験型マイクロツーリズム事業の造成や、さらなる情報発信の充実を図る。また、観光事業とちくせん事業による各地区の取組の連携・推進による、		
③          		

2. 各課実践事業の評価基準

評 価	評価基準	評価施策数
A	着実に実践され、大きな効果が期待される。	18
B	概ね実践され、効果が期待される。	4
C	実践されるが、効果が出るのはまだ早い。引き続き実践する。	15
D	実践されるが、効果の見込みなし。(廃止も含め検討)	3
E	事業未実施。(R4に予定していたが、実践できなかった)	1
F	事業未実施。(R5以降に実践する事業)	2
評価なし	最終年度に評価	1
計		44

3. 実践事業(プロジェクトM)ごとの評価

項 目	主管課	事 業 名		評 価
1 子育て支援	町民生活課	1	子育て支援センター開設	A
		2	預かり保育時間延長	F
		3	保育所ごはん補完計画	A
		4	病児保育(新規)	F
		5	ウッドスタート	C
		6	出産祝い金の支給	C
		7	出生届(写し)ステッカープレゼント	C
		8	保育使用料の軽減	A
		9	子ども医療費の無料化	A
	健康福祉課	10	子育て相談窓口の設置	C
		11	育児相談事業	B
		12	不妊治療費助成	B
	教 育 課	13	子ども(乳幼児含)が「育つ」居場所創設事業	C
		14	美郷探検隊事業と家庭教育推進大会の開催	C
		15	生涯学習推進事業「生涯学習人材バンク」	C
		16	給食費無償化	A
	政策推進室	17	婚活支援事業の開催	D
	まちづくり懇話会 での提案・意見 (抜粋)	・子育て世帯に対するアンケートを実施してはどうか。また、その結果を町ホームページで公表してはどうか。 ・婚活支援にマッチングアプリの活用を検討してはどうか。		
2 地域づくり	政策推進室	18	地区別戦略の策定・実施	B
	企画情報課	19	観光アプリの開発	C
		20	新規観光(体験)ツアー事業	A
		21	美郷町総合PR事業(企業版ふるさと納税)	C
	教 育 課	22	地域スポーツ活動の推進	E
		23	町立図書館wi-fi計画	A
	総 務 課	24	美郷町救急救命業務委託	—
	まちづくり懇話会 での提案・意見 (抜粋)	・ちくせんの活動状況のPRをもっとしてほしい。 ・図書館のWi-Fiの通信の不安定を解消してほしい。また、飲食ができる環境整備の検討もお願いしたい。		

項 目		主管課	事 業 名		評 価
3	しごとづくり	企画情報課	25	ゼロ円起業	A
			26	新規事業進出支援(飲食店限定)	A
		農林振興課	27	美さぽーと事業(地域おこし協力隊)	C
			28	新規就農・担い手対策事業	C
			29	山村雇用確保・森林整備事業	A
			30	山村雇用・森林整備人材育成	C
		政策推進室	31	宮崎ひなた暮らしUIJターン支援事業	A
			32	産地型商社の設置	A
			33	美郷町職業紹介所事業	D
		まちづくり懇話会での提案・意見(抜粋) ・地域おこし協力隊の受入における支援体制を検討する必要がある。 ・建設業における若い職員の育成を目的に職員育成プロジェクトのようなものを検討してほしい。 ・農林業の担い手対策として、子供達に農林業に興味を持ってもらえるような事業の検討をお願いしたい。			
4	移住・定住支援	建 設 課	34	定住促進住宅の整備	D
			35	単身住宅の整備(アパートタイプ)	A
			36	既存住宅の整備(リフォーム)	A
			37	町による計画的な分譲地の造成	A
		健康福祉課	38	高齢者用住宅の整備	C
		政策推進室	39	空き家サブリースでの住宅整備	C
			40	移住支援員の設置	A
			41	美郷アエルCafeの開催	C
			42	移住相談窓口の設置	A
			43	移住体験の実施	A
			44	空家バンク事業	B
		まちづくり懇話会での提案・意見(抜粋) ・「家を建てたいが土地が買えない」という話を聞くので、宅地造成分譲を進めてほしい。 ・移住実績についてのご質問があった。			

第2期

美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略

プロジェクトM

(実践事業)

令和 2年 3月策定

令和 3年 9月改訂

令和 4年12月改訂

M	No.	事業名	担当課	頁
子育て支援	1	子育て支援センターの開設	町民生活課	1
	2	預かり保育時間延長	町民生活課	1
	3	保育所ごはん補完計画	町民生活課	2
	4	病児保育（新規）	町民生活課	2
	5	ウッドスタート	町民生活課	3
	6	出産祝い金の支給	町民生活課	3
	7	出生届（写し）ステッカープレゼント	町民生活課	4
	8	保育使用料の軽減	町民生活課	4
	9	子ども医療費の無料化	町民生活課	5
	10	子育て相談窓口の設置	健康福祉課	5
	11	育児相談事業	健康福祉課	6
	12	不妊治療費助成	健康福祉課	6
	13	子育て支援事業 ①子ども（乳幼児含）が「育つ」居場所創設事業	教 育 課	7
	14	子育て支援事業 ②ふるさと美郷を知る「美郷探検隊事業」と家庭教育推進大会の開催	教 育 課	7
	15	生涯学習推進事業 「生涯学習人材バンク」	教 育 課	8
	16	給食費無償化	教 育 課	8
	17	婚活支援事業の開催	政策推進室	9
地域づくり	18	地区別戦略の策定・実施	政策推進室	10
	19	観光アプリの開発	企画情報課	11
	20	新規観光（体験）ツアー事業	企画情報課	11
	21	【企業版ふるさと納税】美郷町PR事業	企画情報課	12
	22	子育て支援事業 ③地域スポーツ活動の推進	教 育 課	12
	23	子育て支援事業 ④町立図書館wi-fi計画	教 育 課	13
	24	美郷町救急救命業務委託	総 務 課	13
しごとづくり	25	ゼロ円起業	企画情報課	14
	26	【飲食店限定】新規事業進出支援	企画情報課	14
	27	【地域おこし協力隊】美さぼーと事業	農林振興課	15
	28	新規就農・担い手対策事業	農林振興課	15
	29	山村雇用確保・森林整備	農林振興課	16
	30	山村雇用・森林整備人材育成	農林振興課	17
	31	宮崎ひなた暮らしUターン支援事業	政策推進室	17
	32	産地型商社の設置	政策推進室	18
	33	美郷町職業紹介所事業	政策推進室	18
移住・定住支援	34	定住促進住宅の整備	建 設 課	19
	35	単身住宅（アパートタイプ）の整備	建 設 課	19
	36	既存住宅の整備（リフォーム）	建 設 課	20
	37	町による計画的な分譲地の造成	建 設 課	20
	38	高齢者用住宅の整備	健康福祉課	21
	39	空き家サブリースでの住宅整備	政策推進室	21
	40	移住支援員の設置	政策推進室	22
	41	美郷アエルCafeの開催	政策推進室	22
	42	移住相談窓口の設置	政策推進室	23
	43	移住体験の実施	政策推進室	23
	44	空家バンク事業	政策推進室	24

No.	1	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	子育て支援センターの開設				
事業の概要	子育て支援センターは、主に乳幼児の子どもと子どもを持つ親が交流を深める場であり、気軽に遊びに行くことができますし、同じような境遇の親子で交流を通して子育てについての不安や悩みも相談することができる。 今後、町民生活課と健康福祉課が軸となり開設に向けて協議を始める。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに1施設				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		F:次年度以降計画
	R3	開設準備・運営費	80	1施設	C:効果まだ、継続実践
	R4	運営費	30	1施設	B:概ね実践、効果期待
	R5	運営費	52	1施設	A:実践済、効果期待大
	R6	運営費	100		
		合 計	262	1施設	
R5実績及びR6計画	令和3年度10月に西郷ニューホープセンター内に開設。参加者数、業務従事者などの現状から、当初期待した効果があるのか検討する必要がある。社協(保育所)も同様の取組の検討をしていることから、社協との協働も検討する。 令和5年度については開設日15日。利用者は延べ87人であった。 昨年度に比べ利用者が減少しているため、子育て支援センターの実施内容や開設案内の周知に力を入れて取り組む。				
備考					

No.	2	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	預かり保育時間延長				
事業の概要	(概要)各保育所での預かり保育を18時30分まで実施する。 (目的)子育て世代へのサービスの向上				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに3施設				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		F:次年度以降計画
	R3		0		F:次年度以降計画
	R4	社協委託料への増加額相当分	0		F:次年度以降計画
	R5	社協委託料への増加額相当分	0		F:次年度以降計画
	R6	社協委託料への増加額相当分	0		
		合 計	0		
R5実績及びR6計画	3施設とも平日の延長保育に対しては特に保護者からの要望はないので、現行の開設時間(7:30~18:00)におけるスタッフの確保・配置を安定させ、保育の充実に努める。また、従来から実施している土曜預かりが浸透していない、利用しにくいとの声があったため土曜預かりの浸透を図る。				
備考					

No.	3	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	保育所ごはん補完計画				
事業の概要	(概要)現在3歳以上については主食を持参しているが、完全給食を実施するために地元の農家と契約し、お米を確保し提供する。 (目的)子育て世代へのサービス向上(地域との関わりの深化)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに1施設				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	1施設	B:概ね実践、効果期待
	R3		0	1施設	A:実践済、効果期待大
	R4	社協委託料への増加額相当分	200	1施設	A:実践済、効果期待大
	R5	社協委託料への増加額相当分	200	1施設	A:実践済、効果期待大
	R6	社協委託料への増加額相当分	200		
		合 計	600	1施設	
R5実績及びR6計画	計画策定当時は、みかど保育所のみ3歳児以上は米飯を持参していた(他の保育所は完全給食を実施済み)ので、KPIはみかど保育所の1施設にしていたが、令和2年度に完全給食を開始した。 食育、農家さんのやりがい等につながるよう米、野菜等の食材の購入先を開拓するなど地産地消への取り組みを図る。				
備 考					

No.	4	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	病児保育(新規)				
事業の概要	(概要)美郷町の基幹病院である西郷病院付近に、病児保育施設を設置する。これにより病氣と診断された児童および病後児の保育を行う。 (目的)子育て世代へのサービスの向上				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに1施設				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		F:次年度以降計画
	R3		0		F:次年度以降計画
	R4	病児保育等設計委託料 等	0		F:次年度以降計画
	R5	病児保育棟建築・監理料 等	0		F:次年度以降計画
	R6	運営費	0		
		合 計	0		
R5実績及びR6計画	医療局との協議で小児科医がいないと責任を持った対応ができないとの回答を得たので、検討を中断している。しかし、今後小児科が開設されない場合に、関係機関(JAMS等)との連携による開設の可否については引き続き検討していく。 令和6年度からは県内の病児・病後児保育施設を利用した際の利用料を補助する制度を開始する。				
備 考					

No.	5	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	ウッドスタート				
事業の概要	(概要)1歳6ヶ月検診の際に地元の木材を使った木製の食器等をプレゼント((前)積み木のプレゼント)。※林業センター、林業大学校と連携し地元製材所等を活用 (目的)子育て世代へのサービスの向上(地元との関わりの深化)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間出生数30人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	20人	F:次年度以降計画
	R3	記念品 10千円×13人	127	25人	B:概ね実践、効果期待
	R4	記念品 10千円×20人	88	18人	B:概ね実践、効果期待
	R5	記念品 10千円×20人	119	11人	C:効果まだ、継続実践
	R6	記念品 10千円×20人	200		
		合 計	534	74人	
R5実績 及び R6計画	農林振興課で同様の事業を行うため、当該事業は廃止し他の事業を検討する。 令和6年3月31日まで受付を行い、令和6年度は受け渡しのみ行う。				
備 考					

No.	6	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	出産祝い金の支給				
事業の概要	「出産奨励祝い金」支給し、出生に対する町からの御祝のメッセージを発信する。(1・2子目30千円、3子目100千円)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間出生数30人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		1,090	20人	A:実践済、効果期待大
	R3	第1・2子×17人、第3子×8人	1,310	25人	A:実践済、効果期待大
	R4	第1・2子×15人、第3子×5人	860	18人	A:実践済、効果期待大
	R5	第1・2子×15人、第3子×5人	540	11人	C:効果まだ、継続実践
	R6	第1・2子×15人、第3子×5人	950		
		合 計	4,750	74人	
R5実績 及び R6計画	今後引き続き実施していく。				
備 考					

No.	7	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	出生届(写し)ステッカープレゼント				
事業の概要	(概要)出生届提出時にその写しと美郷町オリジナルステッカー(baby in car)をプレゼントする。 (目的)子育て世代へのサービスの向上				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間出生数30人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	20人	F:次年度以降計画
	R3	出生届入・ステッカー各500部	191	25人	C:効果まだ、継続実践
	R4		0	18人	B:概ね実践、効果期待
	R5		0	11人	C:効果まだ、継続実践
	R6		0		
		合 計	191	74人	
R5実績 及び R6計画	出生届のあった際に配布している。				
備 考					

No.	8	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	保育使用料の軽減				
事業の概要	第2子及び第3子以降の保育使用料について、国の基準では長子の幼稚園卒園まで、第2子50%及び第3子100%軽減であるが、これを長子の幼稚園卒園後も適用する。				
重要業績評価指標(KPI)	保育児童の第2・第3子				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	国基準と町基準の差額相当分	7,311	13人	A:実践済、効果期待大
	R3	国基準と町基準の差額相当分	8,742	18人	A:実践済、効果期待大
	R4	国基準と町基準の差額相当分	8,923	49人	A:実践済、効果期待大
	R5	国基準と町基準の差額相当分	9,157	33人	A:実践済、効果期待大
	R6	国基準と町基準の差額相当分	9,157		
		合 計	43,290	113人	
R5実績 及び R6計画	子育て世帯への支援策として必要なものであるため計画通り継続する。				
備 考					

No.	9	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	子ども医療費の無料化				
事業の概要	(概要)中学生以下の医療費完全無料 (目的)子育て世代の金銭的負担軽減				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに医療費完全無料				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	乳幼児・子ども医療費助成金	7,225	月350円・千円負担	F:次年度以降計画
	R3	乳幼児・子ども医療費助成金	9,284	完全無料	A:実践済、効果期待大
	R4	乳幼児・子ども医療費助成金	9,110	完全無料	A:実践済、効果期待大
	R5	乳幼児・子ども医療費助成金	11,990	完全無料	A:実践済、効果期待大
	R6	乳幼児・子ども医療費助成金	11,554		
		合 計	49,163	完全無料	
R5実績 及び R6計画	計画では令和4年度から完全無料化の予定であったが、令和3年9月に条例を改正し同年10月から実施した。子育て世帯への支援策としてだけでなく、低所得世帯への扶助としても欠かせないため計画通り継続する。				
備 考					

No.	10	プロジェクトM	子育て支援	担当課	健康福祉課
事業名	子育て相談窓口の設置				
事業の概要	各課横断的になっている相談窓口について、「子育て相談窓口」の専用窓口を設置する。また、育児中や仕事中でも、自宅や職場などから気軽に相談出来る専用回線を設置する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間相談件数30件				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	内容の検討	0	0件	F:次年度以降計画
	R3	内容の検討	0	0件	F:次年度以降計画
	R4	子育て支援センターで実施	0	0件	C:効果まだ、継続実践
	R5	子育て支援センターで実施	0	0件	C:効果まだ、継続実践
	R6	子育て支援センターで実施	0		
		合 計	0	0件	
R5実績 及び R6計画	R5年度は、子育て支援センターで実施したが、国がR6年度までに「こども家庭センター」(全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関)の設置を市町村に義務づける方向で動いており、それを考慮しながら設置を検討したい。				
備 考					

No.	11	プロジェクトM	子育て支援	担当課	健康福祉課
事業名	育児相談事業				
事業の概要	子育て支援センター開所時に育児相談を実施する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間相談件数10件				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	乳幼児健診時に実施	0	0 件	D:効果なし(廃止も検討)
	R3	乳幼児健診時に実施・実施方法等検討	0	0 件	C:効果まだ、継続実践
	R4	子育て支援センターで実施	0	66 件	B:概ね実践、効果期待
	R5	子育て支援センターで実施	0	40 件	B:概ね実践、効果期待
	R6	子育て支援センターで実施	0		
		合 計	0	106件	
R5実績 及び R6計画	子育て支援センターは内容を決めて実施しており、その内容のなかに育児相談を入れていないが、R5年度は、参加者にお茶を飲みながら、ゆっくりとした時間を過ごしてもらう内容を設けたり、活動中や前後の時間において、保護者の方に声をかけたりして話をしている。保護者同士の話の中で、相談している様子も伺える。 R6年度も継続予定。				
備 考	※実績のKPI件数は利用者数となります。				

No.	12	プロジェクトM	子育て支援	担当課	健康福祉課
事業名	不妊治療費助成				
事業の概要	不妊治療を受けている夫婦に対し、費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図り少子化対策の推進を行う。 〈町補助〉 ・不妊検査:5万円を上限に補助 ・一般不妊治療(人工授精):1ヶ年10万円を限度に補助。2ヶ年まで。 ・特定不妊治療(体外受精・顕微受精等):県の補助や高額療養費等を差し引いた後の自己負担額の1/2を補助。				
重要業績評価指標(KPI)	年間助成件数6件				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	一般(2件)、特定(4件) 2件出産	588	6件	B:概ね実践、効果期待
	R3	一般(1件)、特定(6件)	726	7件	B:概ね実践、効果期待
	R4	一般(1件)、特定(3件) 1件出産	917	4件	B:概ね実践、効果期待
	R5	一般(1件)、特定(0件)	24	1件	B:概ね実践、効果期待
	R6	一般(2件)、特定(6件)	1,100		
		合 計	3,355	18件	
R5実績 及び R6計画	R4.4月から不妊治療の保険適応が開始。県から対象者への補助が中止されたが、再度R5.11月よりR5.4月1日開始治療分から新たに補助が開始された。問い合わせ等あるが、県の補助を受けた後に町に申請となるため、実績の件数としては1件であった。R6年度も継続。				
備 考					

No.	13	プロジェクトM	子育て支援	担当課	教育課
事業名	子育て支援事業 ①子ども(乳幼児含)が「育つ」居場所創設事業				
事業の概要	これまで実施してきた保護者のための「子育て支援事業」ではなく、子どもを中心に据え、その子の「育ち」を支援する「子育て支援事業」の展開を図る。乳幼児や小学生低学年世帯には、各家庭ごとの「家庭の日(親子の日)」を提唱し、図書館を活用したふれあいの場の提供を行う。学校放課後や長期休業中の「放課後児童育成事業」も図書館施設を活用し「本」による子どもの育ちを支援する。活動サポーターと図書館職員の連携。西郷図書館「子育て支援センター」と連携。				
重要業績評価指標(KPI)	西郷図書館12,000人(現:8800人)、北郷図書館4,500人(現:3,000人)、南郷図書館4,200人(現:2,800人)、合計20,700人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	ニーズ調査・事業計画	0	8,854人	A:実践済、効果期待大
	R3	「親の育ち支援事業」親子3組	40	7,613人	B:概ね実践、効果期待
	R4	子育て支援センターへ移行	0	8,772人	B:概ね実践、効果期待
	R5	子育て支援センターへ移行	0	9,263人	C:効果まだ、継続実践
	R6	子育て支援センターへ移行	0		
		合 計	40	34,502人	
R5実績 及び R6計画	令和3年度に町婦人会で町婦人会結成15周年事業で開始したが、令和4年度から町民生活課の「子育て支援センター」に移行した。				
備 考	KPIは町立図書館3館の来場者数。子ども(幼児から中学生)の利用者数はR2:3,628人・R3:2,795人・R4:2,376人・R5:3,346人				

No.	14	プロジェクトM	子育て支援	担当課	教育課
事業名	子育て支援事業 ②ふるさと美郷を知る「美郷探検隊事業」と家庭教育推進大会の開催				
事業の概要	本町の恵まれた環境と人を最大限に活用し、自然体験や社会体験を通して将来観・未来観・職業観を育み、主体的に生きていくことのできる資質や能力を育成することで、その子の「育ち」を支援する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間参加者300人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	美郷探検隊50名・家庭教育推進大会100名	100	きらら放送※コロナ禍	C:効果まだ、継続実践
	R3	美郷探検隊50名・家庭教育推進大会80名	481	きらら放送※コロナ禍	C:効果まだ、継続実践
	R4	美郷探検隊50名・家庭教育推進大会80名	50	きらら放送※コロナ禍	C:効果まだ、継続実践
	R5	美郷探検隊109名・家庭教育推進大会120名	381	きらら放送	C:効果まだ、継続実践
	R6	美郷探検隊160名・家庭教育推進大会140名	481		
		合 計	1,493		
R5実績 及び R6計画	美郷探検隊は各学校ごとの「お仕事体験」と合同でのミステリーツアーを実施。家庭教育推進大会については「タッチセラピー講座」を行い、学級生に広く届けるためオンデマンドで開催した。令和6年度も美郷探検隊「お仕事体験」と「ミステリーツアー」を実施予定。家庭教育推進大会は、子どもとメディアみやざき代表 糸数智美氏による講演「(仮)メディアによる影響」を実施し、終了後にアンケート調査を行い事業を評価する。				
備 考	令和2年度からオンデマンド「きらら放送」で実施している。				

No.	15	プロジェクトM	子育て支援	担当課	教育課
事業名	生涯学習推進事業「生涯学習人材バンク」				
事業の概要	地域人材を活用した生涯学習講座(竹細工やさげ飾り等)は実施している。さらに広く情報収集を行い「美郷町生涯学習人材バンク」をまとめ情報発信していく。現在発行している「あなたの生涯学習応援します」に「美郷町生涯学習人材バンク(25名を紹介)」を追加記載。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に、年間利用者(参加者)100名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	人材の発掘・ニーズ調査	0	0	B:概ね実践、効果期待
	R3	人材の発掘・名簿作成	0	0	B:概ね実践、効果期待
	R4	人材バンク冊子の作成	49	50	B:概ね実践、効果期待
	R5	人材バンク冊子の活用	0	57	C:効果まだ、継続実践
	R6	人材バンク冊子の活用	50	0	
		合 計	99	107	
R5実績 及び R6計画	「美郷町生涯学習人材バンク No.1」を各学校、図書館、役場(支所)、公民館等へ配布し、生涯学習の充実と振興を図った。今後さらにI・Uターン者等の新たな人材の発掘に努め、令和6年度にNo.2(追加版)の発行を行う。(令和5年度に約10名を発掘)				
備 考	KPIは「生涯学習人材バンク」への新規登録者による講座参加者数。				

No.	16	プロジェクトM	子育て支援	担当課	教育課
事業名	給食費無償化				
事業の概要	幼稚園・小学校・中学校の園児・児童生徒に対し給食費の全額助成を行い子育てに対する経済的援助を行う。				
重要業績評価指標(KPI)	令和2年度開始				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	園児・児童・生徒 約330名	17,672	給食費無償化	A:実践済、効果期待大
	R3	園児・児童・生徒 約320名	16,452	給食費無償化	A:実践済、効果期待大
	R4	園児・児童・生徒 約310名	16,421	給食費無償化	A:実践済、効果期待大
	R5	園児・児童・生徒 約300名	16,596	給食費無償化	A:実践済、効果期待大
	R6	園児・児童・生徒 約300名	15,000		
		合 計	82,141	給食費無償化	
R5実績 及び R6計画	給食食材費の全額町負担と県の補助事業等を活用することで給食費を無償化している。(令和2年度から実施)				
備 考	満足度調査の検討				

No.	17	プロジェクトM	子育て支援	担当課	政策推進室
事業名	婚活支援事業の開催				
事業の概要	結婚を望む町内独身者の出会いの創出・支援のため、町の特性を生かした婚活イベントを開催する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までにマッチング成立10組				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	婚活支援事業補助金	56	0組	D:効果なし(廃止も検討)
	R3	予算化事業なし	0	0組	D:効果なし(廃止も検討)
	R4	予算化事業なし	0	0組	D:効果なし(廃止も検討)
	R5	予算化事業なし	0	0組	D:効果なし(廃止も検討)
	R6	予算化事業なし	0		
		合 計	56	0組	
R5実績 及び R6計画	以前は「みさ婚」というグループお見合い型の婚活事業をしていたが、町内男性の参加が非常に少ないなど時代にそぐわなくなっている。現在はマッチングアプリや結婚相談所を活用するなど、自分のペースでの出会いが求められている。 令和4年度に町内施設を会場にして「みやざき結婚サポートセンター出張窓口事業(県こども政策課)」を実施。				
備 考					

No.	18	プロジェクトM	地域づくり	担 当 課	政策推進室
事業名	地区別戦略の策定・実施				
事業の概要	町内24行政区全ての人口を分析し、地域の課題を解決するため、行政区単位での戦略策定を推進する。 【提案事業】ハード事業、ソフト事業ともに可とする。 【条件】①地域の人口減少に歯止めをかけるための事業。(人口減少対策) ②地域の課題解決を図る事業(地域課題解決) ③地域の交流・関係人口の増加を促進する事業(交流・関係人口増加)				
重要業績評価指標(KPI)	・令和4年度末までに24地行政区が計画を策定 ・令和5年度末までに24行政区が事業を開始				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	6地区策定準備	6,210	策定準備	B:概ね実践、効果期待
	R3	5地区+8地区策定	12,496	13地区策定	B:概ね実践、効果期待
	R4	11地区策定+13地区事業実施	37,427	11地区策定・13地区実施	B:概ね実践、効果期待
	R5	24地区事業実施	43,209	23地区実践事業開始	B:概ね実践、効果期待
	R6	24地区事業実施	100,576		
		合 計	199,918		
R5実績 及び R6計画	R5年度は、3名のちくせん支援員と協力し、先進地視察や勉強会(つながりMTG)を繰り返しながら、24地区のちくせん活動が、無理なく前向きに、また少しでも自分事として取り組めるよう活動支援を行った。 R6年度も引き続き、全24地区の活動支援を展開していく。事業費については、デジ田交付金(地方創生推進タイプ)に申請している交付対象事業経費を計上。 【デジ田交付金(地方創生推進タイプ)事業のKPI】 ①地域の取り組みによる転入世帯数 (R7年度までに72世帯/R5年度までの実績:25世帯) ②地域の取り組みへの大学生のインターンシップ受入数 (R7年度までに24人/R5年度までの実績:26人) ③地域の取り組みへの観光入込客数 (R7年度年までに2,400人/R4年度までの実績:1,150人) ④行政における定住や交流に関する窓口的拠点の整備と展開 (R7年度までに36箇所/R5年度までの実績:16箇所)				
備 考					

No.	19	プロジェクトM	地域づくり	担当課	企画情報課
事業名	観光アプリの開発				
事業の概要	スマートフォンやタブレット端末の普及により、ガイドマップを片手に観光地を巡る時代から、端末一つで記念撮影から観光施設や特産品情報などを閲覧できる時代に移行し、観光ガイドアプリの需要は年々高まっていることから、観光客誘致、交流人口の増加を目的とした観光アプリを開発する。				
重要業績評価指標(KPI)	R6年度観光入込客: 220,000人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	業務委託発注	5,916	108,122人	E:実施できなかった
	R3	開始(10月)		105,130人	C:効果まだ、継続実践
	R4	運用	0	134,851人	B:概ね実践、効果期待
	R5	運用	0	148,581人	C:効果まだ、継続実践
	R6	運用	132		
	合 計		6,048	148,581人	
R5実績 及び R6計画	【R5実績】 ・ダウンロード実績 689 DL ・新規地点登録 【1箇所】 【R6計画】 新規地点登録・新規コース登録、既存データ確認及び更新等				
備 考					

No.	20	プロジェクトM	地域づくり	担当課	企画情報課
事業名	新規観光(体験)ツアー事業				
事業の概要	本町の魅力発掘のための観光(体験)ツアーを、新たに企画する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間10件(企画数)				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI※()内は実施数	評価
	R2		0	9件(7件)	C:効果まだ、継続実践
	R3	ツアー実施(年5回)	0	22件(10件)	B:概ね実践、効果期待
	R4	ツアー実施(年10回)	0	21件(11件)	B:概ね実践、効果期待
	R5	ツアー実施(年10回)	0	32件(19件)	A:実践済、効果期待大
	R6	ツアー実施(年10回)	0		
	合 計		0	32件(19件)	
R5実績 及び R6計画	【R5実績】 企画 32個 ・ 実施 19個 ※MISATO DE SAUNA、韓国料理体験、星空観望、郷土料理体験、misato Cafe 【R6計画】 企画 20個 ・ 実施 10個 ※最終年度となるため、これまで実施してきたツアーの分析やブラッシュアップを図りたい。				
備 考					

No.	21	プロジェクトM	地域づくり	担 当 課	企画情報課
事業名	【企業版ふるさと納税】美郷町PR事業				
事業の概要	企業版ふるさと納税制度を活用しながら「西の正倉院みさと文学賞」を実施し、百済王族伝説や美郷町から連想されるテーマに則した小説を募集する。応募のあった作品は審査を行い、大賞ほか数作品を選出し、受賞した数作品をまとめた単行本を出版やラジオドラマ化としての放送、そして最終的には映像化することにより、「百済王族伝説」という観光資源の周知を図るとともに、百済の里づくりの取組を知らない世代に対しても、文学という視点からアプローチを行い、「百済王族伝説」、「西の正倉院」、ひいては美郷町の認知度、情報接触度を高めることで観光客の誘致を図る。				
重要業績評価指標 (KPI)	R6年度観光入込客: 220,000人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	みさと文学賞、町PRパンフ	15,963	108,122人	A: 実践済、効果期待大
	R3	みさと文学賞	20,699	105,130人	A: 実践済、効果期待大
	R4	みさと文学賞 季刊誌(年2回)	21,061 1,408	134,851人	A: 実践済、効果期待大
	R5	みさと文学賞 季刊誌(年2回)	10,052 1,727	148,581人	C: 効果まだ、継続実践
	R6	みさと文学賞 季刊誌(年2回)	7,012 1,700		
		合 計	79,622	148,581人	
R5実績 及び R6計画	【R5実績】応募総数252作品(西の正倉院44作品・美郷文芸208作品) ・西の正倉院みさと文学賞実施(募集審査、入選作品選出、贈賞式、ラジオドラマ化) ・美郷文芸エッセイ賞実施(募集審査、入選作品選出、単行本出版) ・季刊誌(vol.5・vol.6)を合計4,000部製作 【R6計画】 引き続き上記3事業を通して、町の認知度や情報接触度を高めることで観光客の誘致を図る。				
備 考					

No.	22	プロジェクトM	地域づくり	担 当 課	教育課
事業名	子育て支援事業 ③地域スポーツ活動の推進				
事業の概要	当初、総合型地域スポーツクラブの設立と学校部活動の活性化による、地域スポーツ活動の振興を目的としたが、令和5年度から学校部活動の在り方が大きく変化しつつあることから、事業を途中断念することとした。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度に、年間参加者6,600人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	ニーズ調査・県からの訪問	0	4,768人	C: 効果まだ、継続実践
	R3	現況調査、各団体・保護者との調整協議	0	4,784人	C: 効果まだ、継続実践
	R4	各団体・保護者との調整・協議	0	4,344人	C: 効果まだ、継続実践
	R5	調査・協議	0	4,304人	E: 実践できなかった
	R6	調査・協議	0		
		合 計	0	18,200人	
R5実績 及び R6計画	生徒数の減により課題であった、学校部活動の団体競技について、令和5年度から、学校・保護者・地域(部活動指導員等)による協議を行い、休日拠点校方式(複数校による1チーム制)を導入することとなった。令和6年度から、北郷と西郷のソフトテニス、南郷と西郷の野球が休日に合同で活動している。今後、他の部活動(バレーボール、陸上等)においても、保護者等の意見を基に部活動の段階的な地域移行を含め検討していく。				
備 考	KPIは、町内部活動生と一般のスポーツ保険加入者数を記載				

No.	23	プロジェクトM	地域づくり	担当課	教育課
事業名	子育て支援事業 ④町立図書館wi-fi計画				
事業の概要	町立図書館の学習室をFree wi-fiスポットとすることで施設の利用促進を図る。(図書館職員やボランティアによる乳幼児への「絵本情操教育」の展開を目指す。) また、育児と在宅ワークを両立することにより、収益を得ながら子育てができることで、IUターン者の増加につながることが期待される。(図書館の魅力発信)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに3ヶ所設置				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	西郷図書館・南郷図書館Wi-Fi設置	265	2ヶ所	A:実践済、効果期待大
	R3		0	2ヶ所	A:実践済、効果期待大
	R4	北郷図書館Wi-Fi設置	155	3ヶ所	A:実践済、効果期待大
	R5		0	3ヶ所	A:実践済、効果期待大
	R6		0		
	合 計		420	3ヶ所	
R5実績及びR6計画	町立図書館Free wi-fiスポットのPRに努める。また、令和6年度に北郷図書館の照明をLED化(1,485千円)し、今後さらなる利便性の向上を図る。				
備 考	第3期において、Wi-Fiを含めた町立図書館3館の利活用促進計画を事業化する。				

No.	24	プロジェクトM	地域づくり	担当課	総務課
事業名	美郷町救急救命業務委託				
事業の概要	町内における救急要請及び病院、診療所からの転院搬送要請に係る救急搬送業務体制を整備し、迅速な対応を可能とすることにより、公共サービスに寄与する。 (1) 救急搬送業務、(2) 病院間移送業務、(3) 搬送車両の始業前、使用后、終業後の点検及び資機材の点検・補充、(4) 救急医療の充実に向けた諸活動(各種講習会・イベント救護等)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に救急体制に関する住民満足度65%				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	救急救命業務 【(1)194件 (2)56件】	110,110		※R3から追加
	R3	救急救命業務 【(1)236件 (2)104件】	114,800	最終年度調査	—
	R4	救急救命業務 【(1)252件 (2)88件】	117,480	最終年度調査	—
	R5	救急救命業務 【(1)276件 (2)98件】	120,450	最終年度調査	—
	R6	救急救命業務	123,288	調査実施予定	
	合 計		586,128		
R5実績及びR6計画	R5年度も継続して全ての救急要請について救急救命業務が行える体制をとった。今後も本町の救命率の向上を目的として、継続して救急救命業務を実施する。				
備 考					

No.	25	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	企画情報課
事業名	ゼロ円起業				
事業の概要	移住定住担当や商工会等と連携しながら、無償で起業までの相談対応、経営や法令等の助言・指導、起業後のフォローを行う。また、事業承継・引継ぎの支援や既存事業者の新事業展開の支援も行う。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに起業・事業承継14事業者				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	相談等 3件、起業・承継3件	0	3事業者	F:次年度以降計画
	R3	相談等19件、起業・承継5件	0	5事業者	F:次年度以降計画
	R4	相談等8件、起業3件・承継1件	0	4事業者	B:概ね実践、効果期待
	R5	相談等14件、起業4件・承継1件	0	5事業者	A:実践済、効果期待大
	R6	相談等2件、起業1件・承継1	2,992		
		合 計	2,992	17事業者	
R5実績 及び R6計画	【R5】 相談件数 14件(内訳:起業相談9件・事業承継相談1件・事業相談3件・商品開発相談1件) 起業及び事業承継件数 5件(内訳:起業4件 事業承継1件) 【R6】 これまで地域おこし協力隊ベンチャー企業支援隊を配置して起業支援や事業承継の支援を行ってきたが、当支援隊の退任もあり、令和6年度は起業・創業支援事業としてアウトソーシングして取り組む。				
備 考					

No.	26	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	企画情報課
事業名	【飲食店限定】新規事業進出支援				
事業の概要	平日・土日に利用できる飲食店の新規オープンし、地元住民、観光客等からの要望に応える。特に若者や家族連れが気軽に利用できるカフェ等の誘致を目的とする。 ※美郷町商工業振興サポート事業補助金への補助上乘せ サポート補助金(上限:新規1,000千円)+1,000千円(飲食業枠)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに3事業者				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	サポート事業補助金 0件	0		F:次年度以降計画
	R3	〃 1件(ラーメン店)	935	1事業者	F:次年度以降計画
	R4	〃 2件(そば屋、焼き肉屋)	2,779	2事業者	B:概ね実践、効果期待
	R5	〃 1件(居酒屋)	2,000	1事業者	A:実践済、効果期待大
	R6	商工業設備投資支援補助金 1件	2,000		
		合 計	7,714	4事業者	
R5実績 及び R6計画	【R5】 新規起業(飲食店)1件 【R6】 新規起業(飲食店)1件				
備 考					

No.	27	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	農林振興課
事業名	【地域おこし協力隊】美さぽーと事業				
事業の概要	「地域おこし協力隊制度」を活用したこの就農サポート事業では、主軸となる基盤農場で就農しながら、様々な品目の農業を体験することができる。 就農する品目を決定したあとは、農地の確保や青年等就農計画を作成し、認定新規就農者として農業制度資金を活用、自営就農となる流れ、移住者の定着につなげる狙い。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに地域おこし協力隊5名の定着				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	地域おこし協力隊 1名	1,239	1名(0名)	C:効果まだ、継続実践
	R3	地域おこし協力隊 2名	5,784	2名(0名)	C:効果まだ、継続実践
	R4	地域おこし協力隊 1名	3,409	1名(0名)	C:効果まだ、継続実践
	R5	地域おこし協力隊 2名	5,487	2名(0名)	C:効果まだ、継続実践
	R6	地域おこし協力隊 2名	13,908		
		合 計	29,827	6名(0名)	
R5実績 及び R6計画	R5:有機農業協力隊員1名の雇用を継続中(～R5)。10月にきんかん・栗栽培隊員を1名雇用。2月にきんかん・栗栽培インターン生の受け入れを行った。きんかん・栗栽培隊員を募集中。 R6:きんかん・栗栽培隊員を2名新たに採用したい。				
備 考					

No.	28	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	農林振興課
事業名	新規就農・担い手対策事業				
事業の概要	(農業次世代人材投資事業【現経営開始資金】) 経営の不安定な就農初期段階の青年就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、青年就農者に対し、経営開始資金を交付する。 (新規就農給付金) 経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し、給付金を給付することにより、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 (新規就農基盤整備対策事業) 新規就農就農者が実施する施設整備や機械導入に助成を行い、就農の促進と就農後の経営安定を図る。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに新規就農者10名の定着				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	新規就農者 1名 新規就農給付金 1名	13,463	1名	B:概ね実践、効果期待
	R3	新規就農者 2名 農業次世代人材投資事業 1名 新規就農給付金 1名	28,668	2名	B:概ね実践、効果期待
	R4	新規就農者 2名 農業次世代人材投資事業 1名 新規就農給付金 1名	11,472	2名	B:概ね実践、効果期待
	R5	新規就農者 1名 新規就農給付金 1名	17,560	1名	C:効果まだ、継続実践
	R6	新規就農者 2名 農業次世代人材投資事業 1名 新規就農給付金 1名	26,560		
		合 計	97,723	6名	
R5実績 及び R6計画	R5:0名 R6以降:国・県の支援制度も活用しながら毎年2名の新規就農者の獲得を目指したい。				
備 考					

No.	29	プロジェクトM	しごとづくり	担当課	農林振興課
事業名	山村雇用確保・森林整備				
事業の概要	木材の価格下落により、多目的機能を有する森林が未整備の状態である山林が多い。山林の活性化のためにも森林整備に町が助成して森林所有者の負担軽減をすることにより、森林整備の促進を図る。また、林業従事者の仕事場の確保にも繋がり人口増加が見込まれる。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに新規林業者数50名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	社会保険等整備事業等	43,093	新規12名(143名)	B:概ね実践、効果期待
	R3	社会保険等整備事業等	44,289	新規0名(131名)	B:概ね実践、効果期待
	R4	社会保険等整備事業等	43,634	新規6名(137名)	B:概ね実践、効果期待
	R5	社会保険等整備事業等	67,255	新規35名(166名)	A:実践済、効果期待大
	R6	社会保険等整備事業等	75,390		
	合 計		273,661	53 名	
R5実績 及び R6計画	※森林環境譲与税充当事業 令和5年度 実績 社会保険等整備事業 28,442千円 166名 森林整備事業 38,813千円 (企業版ふるさと納税 17,440千円充当) 令和6年度 以降計画 ○企業版ふるさと納税も同額程度を見込む ○社会保険等整備事業については県の事業が終了したことから、県補助金へ森林環境譲与税を充当。 ○美郷町林業従事者酷暑手当を創出 林業事業者酷暑特別手当 12,175 千円(6月から9月の4ヶ月間) 社会保険等整備事業 28,882 千円(年間) 森林整備事業 32,805 千円(年間)				
備 考	KPIは令和元年度事業の131名を基礎数値とし差引増減の数値を実績値とする。				

No.	30	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	農林振興課
事 業 名	山村雇用・森林整備人材育成				
事業の概要	みやざき林業大学校受講生に対し、卒業後、町内の林業事業体に就職し、2年間林業に従事したものに町から月額25千円の追加支援を行い、美郷町内で林業に従事できる環境をつくり、担い手の増加を図る(参考:国からの給付金は、月額129千円)。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに15名の育成				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	林業資格取得支援事業等	1,969	5名	B:概ね実践、効果期待
	R3	林業資格取得支援事業等	1,181	3名	B:概ね実践、効果期待
	R4	林業資格取得支援事業等	0	0名	C:効果まだ、継続実践
	R5	林業資格取得支援事業等	0	0名	C:効果まだ、継続実践
	R6	林業資格取得支援事業等	0		
		合 計	3,150	8名	
R5実績 及び R6計画	R4に事業費 393,800円 1名の補助金交付を行ったが、みやざき林業大学研修終了後2年間の定住要件を満たさなかったため、全額返納の手続きを行った。 ※森林環境譲与税充当事業 令和5年度実績 0千円 令和6年度予算 0千円				
備 考	交付要綱の改正:卒業後、町内の林業事業体に就職し、2年間林業に従事しようとするもの。→したものに改正(令和5年3月29日)				

No.	31	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	政策推進室
事 業 名	宮崎ひなた暮らしUIJターン支援事業				
事業の概要	地域の人手不足を解消するために県外から移住してくる方に対し、移住支援金を支給する。 【支援金額】 ①国制度分…世帯100万円、単身60万円(18歳未満の世帯員1人につき30万円加算) ②県制度分…世帯100万円、単身30万円 ※上記①、②においては、移住前要件、移住後要件あり。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに当事業における移住者2名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	移住世帯数 2世帯	1,600	4名	B:概ね実践、効果期待
	R3	移住世帯数 0世帯	0	0名	B:概ね実践、効果期待
	R4	移住世帯数 1世帯	1,000	6名	B:概ね実践、効果期待
	R5	移住世帯数 1世帯	1,000	0名	A:実践済、効果期待大
	R6	移住世帯数 1世帯	1,000		
		合 計	4,600	10名	
R5実績 及び R6計画	令和5年度 実績なし				
備 考					

No.	32	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	政策推進室
事業名	産地型商社の設置				
事業の概要	地域内の農家、加工業者、直売所等が連携し、産地型商社を設立し、生産・加工・最終商品の販売に取り組むとともに、一貫したブランド戦略により、利益の最大化を図り、設備の機能強化による生産性の向上、周年雇用の実現、確かな需要に基づく効率的な農業生産といった好循環を図る。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに産地型商社1社				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	産地型商社設立準備	6,135	1社	A:実践済、効果期待大
	R3	産地型商社設置準備	735	1社	A:実践済、効果期待大
	R4		0	1社	A:実践済、効果期待大
	R5		0	1社	A:実践済、効果期待大
	R6		0		
		合 計	6,870	1社	
R5実績 及び R6計画	令和3年3月22日 協定締結 令和3年4月14日 事務所設置 令和3年7月1日～ ふるさと納税・6次化推進業務を開始 令和6年5月31日 会社撤退				
備 考					

No.	33	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	政策推進室
事業名	美郷町職業紹介所事業				
事業の概要	町内外の求人情報を町民が手軽に入手できるようにすることで、町民の働く場を確保する。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに紹介を受ける者100名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	無料職業紹介事業	0	4名	C:効果まだ、継続実践
	R3	無料職業紹介事業	0	17名	C:効果まだ、継続実践
	R4	無料職業紹介事業	0	—	D:効果なし(廃止も検討)
	R5	無料職業紹介事業	0	—	D:効果なし(廃止も検討)
	R6	無料職業紹介事業	0		
		合 計	0	21名	
R5実績 及び R6計画	以前は求人情報を町が取りまとめ情報発信やマッチングの対応をしていた。しかし、求人側の事務負担増や更新されない等の事象が発生した。そこで、令和3年度から情報を「ハローワーク日向」及び「ふるさと宮崎人材バンク」に一元化し、登録情報を町公式SNSで発信するとともに、求職者からの問い合わせにも対応している。				
備 考					

No.	34	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	建設課
事業名	定住促進住宅の整備				
事業の概要	子育て世代の移住・定住を促進するため、若者定住促進住宅を整備する。(町内者も入居可能) 対象者: 中学生以下の子供を持つ世帯 3戸以上の入居希望があった時点で設計を行い、設計は入居希望者の要望を取入れ間取り等を決める。(後年度の無償譲渡も検討)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに4棟				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	0棟	F: 次年度以降計画
	R3		0	0棟	F: 次年度以降計画
	R4		0	0棟	D: 効果なし(廃止も検討)
	R5		0	0棟	D: 効果なし(廃止も検討)
	R6		0	0棟	D: 効果なし(廃止も検討)
	合 計		0	0棟	
R5実績 及び R6計画	令和4年度及び令和5年度実施予定なし。(住宅建設費については国よりの補助金の補填を考えていたが、移住・定住促進のための住宅建設費の補助金はないため建設費は増大となる。また、現時点にて入居希望者も無い状況である。) 令和6年度実施予定なし。				
備 考					

No.	35	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	建設課
事業名	単身住宅(アパートタイプ)の整備				
事業の概要	若い世代用の住宅が不足していることから、低家賃(10,000円～15,000円)で入居できる単身者住宅(1ルームタイプ)を整備する。 入居条件: 18歳以上40歳未満の独身者 ※R4計画・実施: 1棟(10戸) 【参考】西米良: 2LDK、20,000円、1LK、7,000円)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに1棟(10戸)				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	0棟	F: 次年度以降計画
	R3		0	0棟	F: 次年度以降計画
	R4	測量・設計・整備(南郷地区⑩)	87,660	1棟	A: 実践済、効果期待大
	R5	測量・設計・整備(南郷地区⑩)	62,778		A: 実践済、効果期待大
	R6		0	0棟	
	合 計		150,438	1棟	
R5実績 及び R6計画	南郷神門地区に、単身者用住宅1棟10戸建設を令和4年10月着工。令和5年6月完成 令和4年度 87,660千円 令和5年度 62,778千円(繰越) 令和6年度は計画なし				
備 考					

No.	36	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	建設課
事業名	既存住宅の整備(リフォーム)				
事業の概要	「子育て世帯」に対応した、愛宕団地、川上迫住宅、和田住宅のリフォームを年次的に行い定住促進を図る。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに14戸				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	設計・整備(愛宕②、甲田①)	17,991	3戸	A:実践済、効果期待大
	R3	設計・整備(愛宕④、門田①)	50,064	5戸	A:実践済、効果期待大
	R4	設計・整備(愛宕③)	31,019	3戸	A:実践済、効果期待大
	R5	設計・整備(愛宕①、川上迫①、和田①)	30,066	3戸	A:実践済、効果期待大
	R6	設計・整備(愛宕①)	9,500	1戸	
		合 計	138,640	15戸	
R5実績 及び R6計画	令和4年度は物価上昇等により愛宕団地の改修工事を予定4戸より3戸にした。 令和5年度は愛宕団地1戸、川上迫団地1戸、和田団地1戸の改修。 令和6年度は愛宕団地1戸実施				
備 考					

No.	37	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	建設課
事業名	町による計画的な分譲地の造成				
事業の概要	町選定の用地を基本として計画的な宅地造成を行う。 (参考)H24宅地分譲候補地検討委員会選定(各地区3箇所 計9箇所) 西郷1団地3区画(H25整備:全区画購入済み) 北郷1団地2区画(購入者募集中)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに2区画				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	0区画	F:次年度以降計画
	R3		0	0区画	F:次年度以降計画
	R4		0	0区画	F:次年度以降計画
	R5	測量・整備(西郷地区①)	26,958	2区画	A:実践済、効果期待大
	R6		0	0区画	
		合 計	26,958	2区画	
R5実績 及び R6計画	令和5年度北郷芝原地区の整備を計画しているが、分譲地の公募に募集が来ていない状況である。状況次第で補正予算の対応としたい。令和5年度において、西郷迫内地区に分譲地2区画を計画・実施。 令和6年度は分譲地整備なし。				
備 考					

No.	38	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	健康福祉課
事業名	高齢者用住宅の整備				
事業の概要	運転免許の返納等で移動困難な高齢者に対し、町の中心部での生活を希望する高齢者ニーズの調査を行い、高齢者住宅整備計画の基礎資料を作成する。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和5年度までに希望調査を取り纏め、建設課へ伝達する。				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		※R4追加
	R3		0		※R4追加
	R4	協議	0	協議	C:効果まだ、継続実践
	R5	協議	0	協議	C:効果まだ、継続実践
	R6	調査、計画	0		
		合 計	0		
R5実績 及び R6計画	現在ニーズの調査・把握中。 ニーズが把握でき次第、建設場所を含め 今年以降計画を策定する。				
備 考					

No.	39	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事業名	空き家サブリースでの住宅整備				
事業の概要	町内の空き家を町が10年間借受け、町の負担でリフォームし、移住希望者へ町営住宅として貸付けを行う。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに5戸				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		※R4追加
	R3		0		※R4追加
	R4	選定・整備①	6,324	1戸	C:効果まだ、継続実践
	R5	選定・整備①	0	0戸	C:効果まだ、継続実践
	R6	選定・整備①	25,200	2戸	
		合 計	31,524	3戸	
R5実績 及び R6計画	令和4年度サブリース1件整備。 令和5年度は1件整備予定であったが令和6年度に繰越。 令和6年度は繰越分と併せて2件整備となる予定				
備 考					

No.	40	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事業名	移住支援員の設置				
事業の概要	空家等情報バンクへの登録を支援するため、町内の各地域に移住支援員を配置することとしていたが、令和4年度から始まったちくせん事業にも同様の移住支援員が存在することからそちらに一元化することとした。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までにちくせんを通した移住世帯を5世帯				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		F:次年度以降計画
	R3		0		F:次年度以降計画
	R4		0	2世帯	C:効果まだ、継続実践
	R5		0	11世帯	A:実践済、効果期待大
	R6		0		
	合 計		0	13世帯	
R5実績 及び R6計画	令和5年度:各区ちくせん会議において、空家バンク登録等の説明を行った。 令和6年度:各ちくせんと連携を図りながら移住支援に取り組む				
備 考					

No.	41	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事業名	美郷アエルCafeの開催				
事業の概要	移住者は新しい仲間づくりの場が限られていることや、移住希望者は、町民や先輩移住者の話を聞く機会が限られていることから、住民が集い、繋がる仕組みづくりを行うことで地域への興味・関心が向上し、定住促進や地域の活性化を図る。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに参加者数250名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	0名	E:実施できなかった
	R3		0	0名	E:実施できなかった
	R4		0	0名	E:実施できなかった
	R5	開催費用	8	5名	C:効果まだ、継続実践
	R6	開催費用	10		
	合 計		18	5名	
R5実績 及び R6計画	令和5年度は久しぶりの開催であったが参加者は少なかった。 令和6年度も実施予定。				
備 考					

No.	42	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事業名	移住相談窓口の設置				
事業の概要	相談窓口を設け、移住関連の情報提供や、関係機関・団体への取次ぎなどを円滑に実施するほか、移住に関する積極的なPRを行う。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに相談件数300件(新規受付)				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	移住相談(新規)	0	96件	B:概ね実践、効果期待
	R3	移住相談(新規)	0	172件	B:概ね実践、効果期待
	R4	移住相談(新規)	0	119件	B:概ね実践、効果期待
	R5	移住相談(新規)	0	74件	A:実践済、効果期待大
	R6	移住相談(新規)	0		
		合 計	0	461件	
R5実績 及び R6計画	政策推進室内に設置済み				
備 考					

No.	43	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事業名	移住体験の実施				
事業の概要	移住希望者に本町での暮らしを実感してもらい、移住・定住を促進するため、お試し滞在施設を運営する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに利用者400人日/年				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	お試し滞在運営費用及び負担金	1,290	177人日	B:概ね実践、効果期待
	R3	お試し滞在運営費用及び負担金	1,577	246人日	B:概ね実践、効果期待
	R4	お試し滞在運営費用及び負担金	1,414	771人日	B:概ね実践、効果期待
	R5	お試し滞在運営費用及び負担金	857	744人日	A:実践済、効果期待大
	R6	お試し滞在運営費用及び負担金	1,409		
		合 計	6,547	1,938人日	
R5実績 及び R6計画	お試し滞在施設利用実績(R5年度) ・黒木の郷 24組、44人 (251泊・276日／延べ463人日) ・美郷と、19組、45人 (134泊・153日／延べ281人日)				
備 考					

No.	44	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事業名	空家バンク事業				
事業の概要	空き家を利活用し、定住促進を図るため、空き家の情報提供を行う空家バンクを運営する。 空家バンクに登録された家屋を利活用するための経費の一部を補助する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに、年度毎の空家バンク登録件数25件、空き家バンク利用者35人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	家財道具撤去及び購入、リフォーム補助	12,822	登録25件、利用64人	B:概ね実践、効果期待
	R3	家財道具撤去及びリフォーム補助	2,824	登録19件、利用69人	B:概ね実践、効果期待
	R4	家財道具撤去及びリフォーム補助	5,258	登録19件、利用79人	B:概ね実践、効果期待
	R5	家財道具撤去及びリフォーム補助	5,041	登録21件、利用37人	B:概ね実践、効果期待
	R6	家財道具撤去及びリフォーム補助	3,400		
		合 計	29,345	登録84件、利用249人	
R5実績 及び R6計画	R5年度事業実績 ・家財道具撤去 8件 ・リフォーム補助 10件 R6年度・・・全国空き家バンクに登録予定				
備 考					